



田空だより なすの大地

第3号

2004年3月号 (通巻第3号)

那須野が原西部田園空間博物館運営協議会
企画広報部会 編集・発行

会長あいさつ

那須野が原西部田園空間博物館運営協議会 会長 井 口 忠

西那須野町・塩原町の地域住民の皆様には、日頃より田園空間博物館への深い関心を寄せられ、また、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

平成12年12月に西那須野町役場において、地域住民の代表、町及び土地改良区等の関係機関が一同に会し、那須農業振興事務所並びに宇都宮大学の富田教授より田園空間博物館の趣旨説明を受けたところから、この田園空間博物館整備がスタートいたしました。このとき、疑心暗鬼の念を持ちながらも、県内初の事業となる博物館立ち上げに向けて協議を行うことになりました。その後ワークショップを重ね、平成14年8月9日に西那須野町内の6コミュニティと塩原町の接骨木・横林地区代表及び地域の住民団体で構成された、この博物館の運営母体となる「那須野が原西部田園空間博物館運営協議会」を設立いたしました。



現在は、協議会内で企画広報部会・整備部会に分かれて活動を推進しているところです。

来月には田園空間博物館の総合案内所が町的那須野が原博物館とともに開館いたします。栃木県で(全国で55地区)第1号として出発するわけですが、本博物館を運営するためには、地域住民の皆様のお力添えを必要といたします。地域のリーダーとしての皆様のご参加、ご協力をお願い申し上げます。地域のリーダーとしての皆様のご参加、ご協力をお願い申し上げます。

(ただし、予算がありませんので、ボランティアとしてご協力をお願いいたします。)

＼(^o^)／ 広報紙の新名称決定! ＼(^o^)／

第2号(11月)の紙面上で、この広報紙の名称(愛称)を募集していましたが、この度新しい名称が「なすの大地」に決まりました。

選考会を1月22日におこない、最終選考に3つの作品が残りました。が、残念ながら入選作品はありませんでした。

最終選考まで残った作品を応募された方につきましては、記念品を贈呈いたしました。皆様からのたくさんのご応募ありがとうございました。

サテライト紹介 (第2号)

赤田山 …上赤田

赤田山は、那須野が原の西部に残った高さ311mの丘陵です。

昔は稲荷山、盃山とも呼ばれていました。数百年前には稲荷神社があったと思われます。

1880年(明治13年)、栃木県令であった三島通庸みちつね ちようこうしやが肇耕社という農場をこの地区に設立しましたが、当時、通庸はこの山の頂上で開拓の構想を練ったりしていたそうです。

頂上にある母智丘神社もちお(※)には、その通庸の故郷である九州の都城(宮崎県)にある母智丘神社の神体の複製が奉納されています。

現在、赤田山には散策路が整備され、神社の裏手には昔の水道の配水池跡を利用してできた展望台があります。

晴れた日には、那須野が原公園や那須連山が一望できますので、近くにお越しの際には、ぜひお立ち寄り下さい。

(※)補足トリビア：元々は「もちお」と呼んでいたらしいですが、今では「もちがあか」と呼ぶ人がほとんどです。(??へえ)
(「もちお」が正式な名称のようです。)



【頂上にある、整備された展望台】



西コミュニティそすいの郷づくり委員会では、正月にぼんぼりを燈しました。また、3月13日には高齢者部会とミニすいせん・ムスカリーの花を植えました。これからも地域の皆さんで誇れるサテライトとして育ててください。

田園空間博物館総合案内所が開館します

4月23日、田園空間博物館総合案内所が那須野が原博物館とともに開館します。そこで、開館を記念して、総合案内所で下記行事を実施いたします。

- ・サテライトの写真展(4/23~5/5)
- ・記念講演会(4/24 14:00~)
講師 松方峰雄氏
「千本松農場と松方正義」
○両方とも、ここで行います。

